

1. 6月中旬の播種作業

- ・ 麦跡大豆は麦稈の腐熟に窒素が必要なため、基肥以外に耕起前に硫安を施用しましょう (表1)。
- ・ 生育量確保のため、**播種量を増やして目標栽植本数を確保**しましょう (表2)。

○「えんれいのそら」は百粒重が大きいので、最初の圃場で播種量が十分入ったか必ず確認しましょう！

表1 施肥の目安

資材名	圃場条件	施用量
粒状貝化石	全圃場	150~200kg/10a
発酵鶏ふん		100~200kg/10a
BB084 (N:P:K =10:18:24)	普通田	20kg/10a
	砂壤土、低地力田	30kg/10a
	麦跡	上記+硫安 10kg/10a

表2 目標栽植本数と播種量・播種機設定の目安

品 種	目標栽植本数 (本/10a)	播種量 ^{※1} (kg/10a)	スプロケット		目皿
			目皿側	車輪側	
えんれいのそら	16,000 ~18,000	6.4~7.2	9~10	14	B-2
			13	10	B-22 ^{※2}
シュウレイ	15,000~ 18,000	6.2~7.4	10	13~14	B-3

※1 百粒重(大粒)：えんれいのそら 35.8g、シュウレイ 37.0g、苗立率90%で計算。
※2 大麦跡等で目標播種量が入らない場合に使用する。

2. 培土作業

- ・ 培土作業は、圃場条件の良い時に、晴れ間を見て早めに実施しましょう。
- ・ 作業前に、培土板や耕うん爪を点検しましょう。
- ・ 適正な作業速度で、**株元にしっかりと土をかけ**ましょう (図1, 2)。

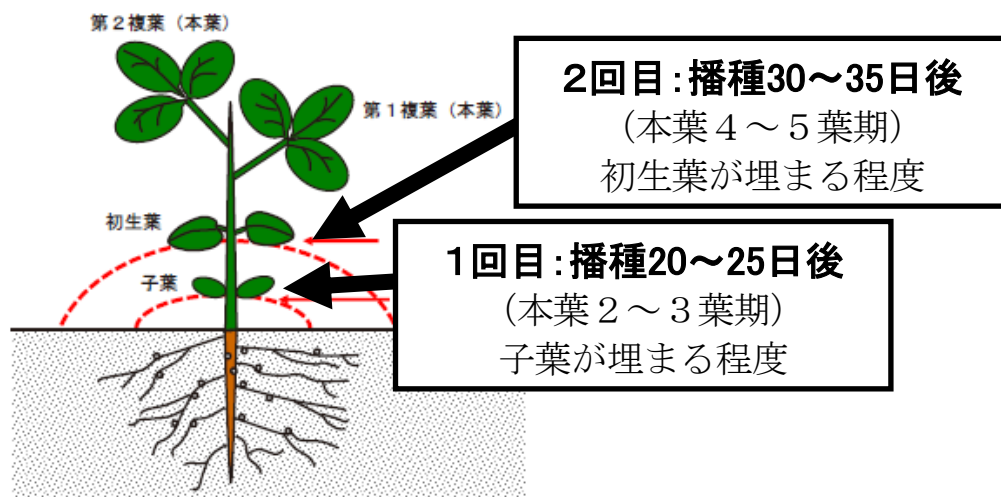


図1 培土の時期と高さ

適期の「良い培土」で、
①排水の促進と湿害防止、
②根量と根粒菌の増加、
③雑草抑制、④倒伏防止
が図られます！

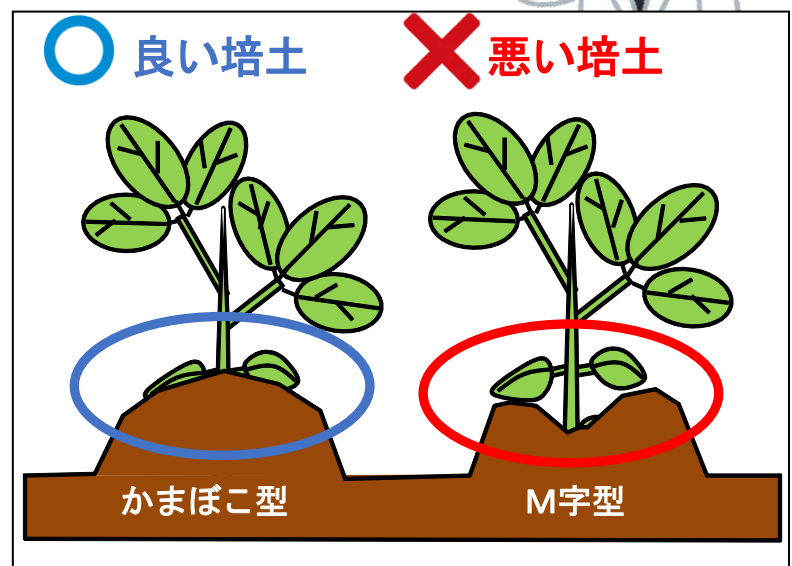


図2 良い培土・悪い培土のイメージ

3. 排水溝の点検・手直し

- ・ 圃場に水が溜まらないよう、**播種後および培土後には必ず排水溝を点検し、額縁排水溝や排水口に確実に連結**しましょう (図3)。
- ・ 降雨後にも溝の連結や排水溝の崩れの手直しを行い、雨水を停滞させないようにしましょう。



排水溝を連結し、
水尻へつなげる

図3 排水溝の連結

難防除雑草に注意しましょう！

- ・ 帰化アサガオ類やイヌホウズキ類、ヒユ類といった、難防除雑草は**生育が早く、繁殖力が旺盛**で、圃場内で生育が進むと防除が困難になります。
- ・ 圃場内外での早期発見に努め、発見した場合は、速やかに除去しましょう！



マルバルコウ



マメアサガオ



イヌホオズキ類



ヒユ類

図4 主な難防除雑草(幼植物)

見つけたら、
すぐに抜き取りを！